
落日【三語即興文】

木野目理兵衛

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

落日【三語即興文】

【Nコード】

N6502E

【作者名】

木野目理兵衛

【あらすじ】

懲りずに三十分で執筆。お題は『私』『終わり』『夕焼け』。

(前書き)

東京事変の『落日』を聞きながらにザザッと。

朱色の光を世界に降り注いでいる太陽が、今にも沈もうとする様子を、私は家の窓から見つめている。

この光を、私は何年、何十年見つめ続けてきた事だろうか。

もう記録もおぼろげな程の昔に、私はこの家に連れて来られた。

私が、私の親と呼ぶべき者が、そのまた親と呼ぶべき者が生まれるよりも遙か以前、まだこの国が大詠帝国と呼ばれていた頃、ある程度裕福な家庭であれば誰もが従えていたという家庭内女性労働者、所謂、女中メイドの代わりとして。

それ以来、私はずっと家事全般を己の仕事として、この家で暮らして来た。

ずっと。そう、ずっとだ。

今日この日に至るまでの長い間、私はずっとこの家の主人たる者に仕えて来た。

主人は、良い者もいたが、悪い者も……その判断基準は、多分に統計的なもので、本当にそうであるかは果たして今になっても解らないけれど……居た。男性であった事もあるし、女性であった事もある。長くその役割を負っていたが故に老人となった者も居たし、逆に、前当主が早死にした為、幼いまま当主の座に付いた者も居る。千差万別に富んだ主人達だったけれど、誰もが共通する事があった。

それは、皆、私よりも早くにその終わりを迎えたという事だ。

人間である以上、彼等は遅かれ早かれ死ぬのである。

機械である私よりも、遙かに短い歳月を駆け抜けて。

その中で、私の人工頭脳に現れた変化を、そこに浮かび上がった計算式を、もし仮に感情と定義するならば、私はその事に酷く哀しんでいた、と言える。私に命令を下した者達、私に存在の理由を与えた者達は、須らく去って行くのだから。

だが、それも今日で終わりだ。

非生物、物、機械にだって、寿命はある。未来永劫に渡って存在出来るものなど、ありはしないのだ。

そして今、私は知っている。自らに残された寿命が、後あの太陽が沈み切るまでの時間しか無い事を。

だからこれが最後、と、私は脳裏に光景を記憶する。

その行為は、最早滅びる他無い私にとっては無意味なものであるかもしれない。

けれども、その無意味な行為を、私は長年行ってきたのだ。今更止める訳にも行くまい。

日々の仕事が終わわり、残す所は夕飯と夜暇というだけの時、ずっと私は見てきたのだ、あの光を。

と、その時、私の肩に手が置かれる。

振り向けば、そこには、この家の現当主が居た。

まだ二十代も半ばの青年である彼は、私を見ながら涙を流している。主人は私の寿命を知っているのだ。

その様子を見ながら私が思ったのは、崩壊への悲哀では無く、有終の喜悦だった。

この家と共にあって幾人もの主達の成長を、その死を見て来た果てに。

こうして見取られながら……あえて言うならば……私は死ぬのだ。それは、私の存在が、決して無為で無かった事の証明ではあるまいか。

だからこそ私は、嬉しい、と考えた。どうしようも無く、そう、嬉しかったのだ。

もう、今にも太陽は沈みかかろうとしている。だから、もう数秒もないだろう、この生命も。

けれどモ私ハ笑ッタ、……彼が泣ク変わりニ……涙流す代わり、に……。

そして最後にこう考えタ……言葉にしヨうとしたが、それは無理

で思うだけだが、こう、でアル。

今マでずット、あり、ガ、とう、ト……………

……………

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6502e/>

落日【三語即興文】

2010年12月22日15時00分発行